

漁況予報 い わ し

第195号

【2016年5～6月漁期】

※1 平年：過去5年平均

※2 被鱗体長：口先から尾ビレの付け根までの長さ

= 概況 =

【マイワシ】

主要定置網におけるマイワシ総漁獲量は、3月は550kgと前年(15トン)及び平年※1(98トン)を大きく下回りました。4月も2.5トン(速報値)と、好漁の前年(254トン)及び平年(129トン)を大きく下回りました。

まき網は、東京湾側でも相模湾側でも水揚げはありませんでした。

本県漁業調査指導船「江の島丸」が3月に行ったサバ資源調査の際、近年になく大羽マイワシを多獲し、伊豆諸島近海にはマイワシ産卵群が集群していましたが、本県沿岸への来遊は見られませんでした。

なお、早期発生群(前年11-12月生まれ)のヒラゴ(被鱗体長※2(以下同)10cm)がカタクチイワシに混じるようになってきました。

【カタクチイワシ】

主要定置網におけるカタクチイワシ総水揚げ量は、3月は80トンで、前年(453トン)及び平年(323トン)を大きく下回りました。4月は160トン(速報値)で、前年(357トン)及び平年(248トン)を下回りました。

鴨居地区及び佐島地区(1ヶ統)のまき網は餌イワシとして断続的に漁獲し、佐島地区(1ヶ統)では2ヶ月計139トンの水揚げがありました。魚体は、9-10cmの小型成魚主体でした。

【シラス】

相模湾のシラス漁は3月11日に解禁となり、水温が高めで推移したこともあり、多くの地先で極めて不漁だった昨年よりは良いスタートとなりましたが、地域により明暗分かれる漁模様となりました。茅ヶ崎以西は解禁直後から100kg/統/日以上的好漁傾向が継続した一方で、三浦半島側では解禁後5日間はマシラスのまとまった来遊により同100kg以上的好漁でスタートしたものの、その後は暫く低調になり、鎌倉～藤沢地先に至っては解禁時から不漁傾向となってしまいました。

3月の漁獲物はマイワシシラス(マイワシ仔魚)が8割占めましたが、4月下旬にはカタクチシラス(カタクチイワシ仔魚)主体になってきました。

なお、4月中旬以降、藤沢地先以東も徐々に漁が上向いてきています。

= 予 報 =

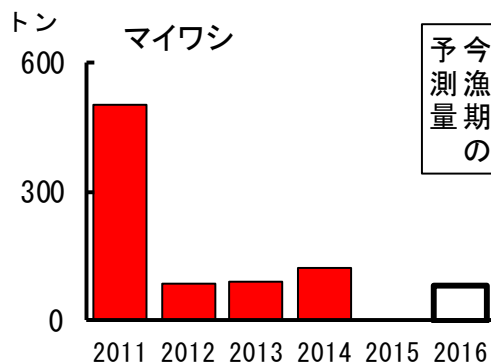
過去5年の5・6月漁期の漁獲量と今漁期の予測量

【マイワシ】

今漁期は、2015年生まれの小羽マイワシ（13～15cm）が漁獲の主体となる一方で、早期発生群のヒラゴもカタクチイワシに混じるでしょう。

また、概況でも書きましたように伊豆諸島近海には大羽イワシがいますので、その索餌北上群にも期待したいところです。

今漁期の漁獲量は、前年を上回る約82トンと予測されます。

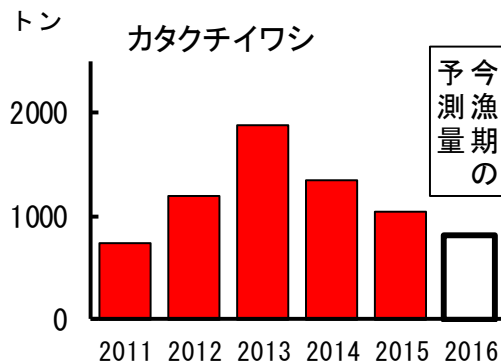


※グラフ縦軸：主要定置網+まき網

【カタクチイワシ】

今漁期は、小型成魚（9～11cm）が漁獲の主体となり、大型成魚（12cm以上）は期待できないでしょう。

今漁期の水揚げ量は、前年をやや下回る約820トンと予測されます。

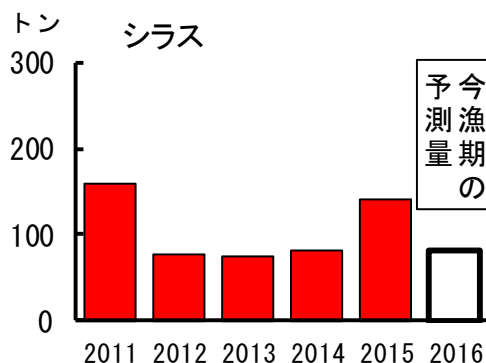


※グラフ縦軸：主要定置網+まき網

【シラス】

今漁期は、4月以降に生まれたカタクチシラスが漁獲の主体となるでしょう。

今漁期の漁獲量は、好漁だった前年を下回る約82トンと予測されます。



神奈川県水産技術センター企画資源部
三浦市三崎町城ヶ島 (046)882-2313